

小さな小さな森の美術館

2016年8月16日

EIKO TAKASHIMA 著

今年で5回目を迎える清水高原アートフェスの最終日。

山荘のお隣りのNONKIさんも我が家もアートフェス仲間です。

NONKIさんちはポーランドからの作家も迎えて、さながら緑陰美術館といった感じです。



写真の作品は清水高原の緑に浮かぶ曼荼羅と表現していいのかしら？

ふと思ったって朝の空気のなかで、私のショールたちを庭に泳がせてみました。藍の生葉で染めた作品たちです。

フシグロセンノウとのコラボもなかなかです。

注意して見張っていないと、翼が生えて森の中に消えていきそうな伸びやかな姿態です。

一人機嫌よく庭で遊んでいたら、村からVIPがお見えになりました。

早速2階の我がギャラリーにご案内！

興味を持って作品をご覧になって、せっかくなので生活空間のリビングでコーヒーをとお誘いして、、、！

ゆっくりこんな風に村の施作や暮らしをお聞きできるのも夏だけの生活者としては嬉しいことです。山形村は夫の母親のふるさと。母恋の夫がこの村に家が欲しいと、この高原に小さな山荘を建てたのでした。



そんなこんなお話をし、村の暮らしぶりや村の文化施作などもお話いただいて、お見送りしたあと気がついたこと！びっくり！私はコーヒーの砂糖とお出ししたものは砂糖ではなかったみたい！大失敗！村長さん失礼いたしました！来年は間違えずお砂糖を用意します！

でも黙って召し上がって、、すごい紳士です！

かくして今年の山荘アートフェスも終了です。

この深々とした緑にお礼を言って、やっぱビールで乾杯しようかな！

